



4年間における成果の一例

西尾市は住みよいまちだと思うか

(市政世論調査)

	住みよい	どちらかといえば住みよい	どちらかといえば住みにくい
令和2年	24.8%	51.6%	20.2%
平成30年	22.9%	48.3%	24.2%
平成28年	22.4%	47.8%	25.4%

住みよいまちへ

住みよさ上昇!

工場立地動向調査結果で愛知県内1位

(愛知県内・平成30年1月~12月期)

立地件数
17件

ダントツ1位
※2位は一宮市7件

雇用
経済発展

雇用創出
税収が上昇!

ふるさと納税の実績が約7倍にアップ!

令和2年	6億1,200万円
令和元年	3億8,800万円
平成30年	2億1,500万円
平成29年	1億4,600万円
平成28年	8,800万円

地域
活性化

4年で7倍に
上昇!

ONE NISHIOで乗り越えよう!

中村けん通信



ごあいさつ

令和3年度は、西尾市が合併して10周年を迎える節目の年です。「ONE NISHIO ~チーム西尾市で心一つに~」をスローガンに、西尾・一色・吉良・幡豆それぞれの地域の強みや多様性を活かしながら、夢や希望の持てるワクワクする西尾市の創生に向け、鋭意取り組んでまいります。

今号の中村けん通信では、選挙時に掲げた政策目標(選挙公約)の進捗状況を中心に、この4年間の市政運営における成果についても一部紹介しています。ご一読いただければ幸いです。

新型コロナウイルス感染症がまだ収束の兆しを見せませんが、ワクチン接種体制の整備をはじめ、市として新型コロナウイルス対策を最優先に位置付け、引き続き注力してまいります。市民の皆さまには、他人事として捉えず、各自でできる感染防止対策を徹底していただくとともに、感染者への差別や誹謗中傷は決してしないようにお願いします。

「ONE NISHIO」でこの難局を乗り越えていきましょう。

西尾市長 中村けん

プロフィール

【生年月日】昭和54年4月25日 【血液型】O型

【家族構成】妻、長男、次男

【学歴】

西尾市立三和小学校 卒業
西尾市立東部中学校 卒業
愛知県立岡崎高等学校 卒業
大阪大学法学部 卒業

【職歴】

元西尾市職員
元西尾市議会議員(1期)
西尾市長(1期)

【好きな言葉】感謝

【座右の銘】切磋琢磨
【趣味】旅行、読書
【好きな食べ物】チョコレート

- 人をつなぎ未来へつなぐ -

西尾市長 中村けんオフィシャルブログ



随時情報
発信中!



ブログ

日常の出来事から、
コロナ感染者数など
様々な情報を発信し
ています。



フェイスブック



インスタグラム
nishio_shicho



政策目標進捗状況

(抜粋)

選挙時に掲げた政策目標(公約)について、現在の状況と今後の取り組みをお知らせします。

子育て・教育

子育て	安心して子どもを産み育てられるよう、特定不妊治療(男女とも)への助成を拡充します。	従来の限度額5万円を増額し、特定不妊治療には最大で20万円、男性不妊治療には最大で15万円を県の不妊治療助成金と別に支給します。国に先駆けて拡充に取り組み、県内の市ではトップクラスの助成内容になっています。	☆☆☆☆ (100%)
教育	学校司書を拡充し、学校図書館を充実させることで、子どもたちの豊かな心と確かな学力を育成します。	小中学校に18名の学校司書と学校図書館アドバイザー1人を配置し、学校図書館ボランティアとも協力して読書環境を整備しています。また、子どもたちの読書活動を一層推進するため、市立図書館に読書通帳を導入しました。今後は、令和3年度・4年度に1名ずつ学校司書を増員していく予定です。	☆☆☆ (75%)

医療・福祉

地域医療	市民病院の医師不足解消に向けた積極的なトップセールスを実施し、安全・安心で持続可能な地域医療体制の確立に努めます。	院長・副院長等の訪問に合わせ、関連大学の教授や愛知県の関連部局長を訪問し、医師不足の現状を伝えるとともに、医師の派遣を強くお願いしています。令和2年度は、合計で7回訪問しました。今後も時間をつくって積極的に訪問を継続していきます。	☆☆ (50%)
高齢者福祉	高齢者の閉じこもりを防ぎ、住み慣れた地域でいきいきと自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅所や「いきいきサービス」の活動を積極的に展開します。	在宅所をはじめとする高齢者通いの場は市内に合計38団体あり、今後も立ち上げ助成・支援や継続運営のための委託料の支給等を行っていきます。いきいきサービスは、高齢者の介護予防と自立した日常生活の支援を目的として、健康チェックや体操、レクリエーションを行っており、年間で約2,200人の方にご利用いただきました(令和元年度)。	☆☆☆ (75%)

市役所と市民参加

行政改革	全ての事業を棚卸しし、組織を見直すことで、ムダを削ぎ落としスリムで柔軟な市役所に変えていきます。	市が行った事務の全量を把握する棚卸しを行い、約5,000の事務について、現行通り、拡大、縮小または統廃合、廃止のチェックを行い、スリム化に努めました。また、棚卸しの結果については、テクノロジーの力で事務の合理化を進めるRPAの活用や、在宅勤務の導入に際する基礎資料として活用しています。	☆☆☆ (75%)
市民参加	予算編成過程を公開することで、編成の過程に市民が意見を言える制度を整備し、市民とともに財政改革に取り組みます。	西尾市総合計画・実施計画(3か年実施計画)の新規事業のうち、県営事業負担金や道路改良事業等を除く事業について、事業概要や事業期間、予算要求額等について公開し、意見を募りました。いただいたご意見は予算査定の参考とし、意見提出者へは、市の考え及び予算案への反映状況をお伝えしました。	☆☆☆☆ (100%)
契約	公契約の適正化と労働者の環境整備を図る公契約条例を制定します。	様々な関係者と意見交換した上で、令和2年4月1日から公契約条例を施行しています。公契約の対象となる、特定公契約を締結した契約について、成果を含めた実態調査を年度末に実施しました。	☆☆☆☆ (100%)

- 調査時点:令和2年7月1日現在
- 進捗状況:事業の進捗状況により、以下のとおり5段階で評価しています。
- 全ての政策目標の進捗状況は
https://www.city.nishio.aichi.jp/_resources/content/7067/20200831-104741.pdf



環境・防災

防災	消防団PRイベントを実施することで、認知度向上を図るとともに、消防団を応援する機運を盛り上げます。	市内の各種イベントにおいて、消防団活動のパネル展示、消防車との記念撮影、バケツリレー体験コーナーの設置、啓発品の配布などを行い、消防団を身近に感じていただけるようなPRを実施しました。令和3年度からは、市内の小中学校に出向き、放水訓練の体験や消防団活動の講話などを実施します。	☆☆☆ (75%)
防災	万が一の津波や高波に備え、早急な堤防整備を県に働きかけるとともに、緊急時の危機管理体制の強化を進めます。	一色地区と吉良地区で、令和3年度及び4年度に各地区で1基ずつ津波避難タワーを整備し、将来的に10基の整備を予定しています。また、第3次あいち地震対策アクションプランの整備区間が一刻も早く進むよう、堤防の耐震化について県に強く要望するとともに、市の事業についても早急に整備できるよう、補助金の増額を国及び県に強く要望しています。	☆☆ (50%)

まちづくり・交通・雇用・観光

公共交通	「くるりんバス」や路線バス等、地域公共交通の路線を再編し、地域内を巡回して買い物や病院へ通える「いこまいか(乗合タクシー)」で補完することで、交通弱者が生まれにくい交通体系を構築します。	くるりんバスを3路線から8路線に拡充するとともに、くるりんバスと民間路線バスの料金格差の解消に努めました。また、一色地区では「いこまいか」のルートを変更し、幡豆地区では「いこまいか」(乗り合いタクシー)の目的地を拡充することで、利便性が向上し、これまでよりも多くの方にご利用いただいています。	☆☆☆☆ (100%)
まちづくり	西尾市の埋もれている地域の歴史や文化を再確認し、地域住民のみならずと共にとその地域ならではの個性ある活性化対策と、起業支援に取り組みます。	地域の歴史や文化を再発見できる観光メニューを観光協会に働きかけるとともに、YouTube上に観光文化振興課のチャンネルを開設し、魅力ある地域資源を住民の方と一緒に配信しています。また、保存活用計画を今後策定し、国の登録文化財となっている岩瀬文庫の書庫と図書館おもちゃ館の有効な活用による観光資源の掘り起こしに取り組んでいきます。	☆☆☆ (75%)
地域振興	市内の観光拠点として、道の駅「にしお岡ノ山」を拡張し、機能を充実させます。	駐車場の慢性的な不足を解消するため、道の駅隣接地に駐車場を造成します。令和2年度に候補地選定業務に着手しており、令和3年度に設計、令和4年度の着工を目指しています。	☆☆ (50%)
スポーツ	一色・吉良・幡豆の海岸部でフルマラソン大会などを開催し、スポーツ振興と観光振興をあわせた地域活性化を図ります。	文化会館周辺をスタートし、市役所経由で吉良町、一色町を通り、矢作川を北上し、ゴールを総合グラウンドとするコースを計画しており、令和4年3月6日の開催に向けて準備を進めています。参加者、応援者、ボランティア、市民が一体となって楽しめるワクワクする大会を目指します。	☆☆ (50%)

あなたの声をお聞かせください!

中村けん後援会にご入会いただける方は、郵送またはメールで【氏名・住所・電話番号】をお知らせください。
〔発行元〕中村けん後援会
住所:西尾市高落町堤外51-1 E-mail : kenken_nkmr@yahoo.co.jp

